

前田です。これは「究極のゼミ合宿 其の六」の案内文です。これを読んでいるということは、あなたは TOEIC 学習に強い関心をお持ちでしょう。

「其の六」は 2014 年 3 月 21 日と 22 日です。1 泊 2 日で実施します。3 連休を利用するので、翌日（23 日）も休みです。

「其の六」では、再び世界最高レベルの良問と仲良くなり、リスニング・文法・語彙・読解に対してあなたが勝手に設定しているかも知れないリミッターを外していただきます。

## 参加資格

「TOEIC のスコアを保有している」ことは従来通りの参加要件です。公開テストであれ IP テストであれ、受験経験があることは必須です。今回は、保有スコアについて制限を設けません。あなたにとって最新の保有スコアが 900 点未満であること。申し込みフォームを送信する時点での、あなたのスコアが 900 点未満であることです。

そして、少人数制です。わずか 16 名だけが参加可能。濃〜い合宿にしたいからです。ボクたちがイメージする参加者は、次の要素を 1 つ以上満たす人々です。

下にあるのは、「参加要件」ではなく、ボクたちがイメージする参加者像です。せめて 1 つ以上を満たしていて欲しいなあという願望です。

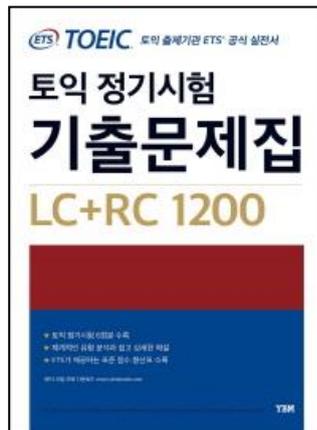
1. TOEIC の受験や学習が好きな人
2. 現在のスコアが 500 点〜895 点の人
3. 「即効の 50 点アップ」より「1 年後の 300 点アップ」に価値を感じる人
4. 公開テストを当然のごとく受け続けている人
5. あの ETS が作った問題を解いて、試験本番でニヤリとしたい人
6. 2 日間で 16 時間も TOEIC の勉強をするなんて無理だと思う人
7. 継続的に学習できるようになるためのきっかけが欲しい人
8. 精神を鍛えたい人
9. 行動至上主義の人間に生まれ変わりたい人
10. 成果を左右する最大要素は教材の良し悪しだと思っている人
11. 勉強を楽しめるようになりたい人
12. facebook で偉人の言葉に「いいね！」をクリックするが、まったく行動しない人
13. TOEIC が好き過ぎて家庭や職場で孤立しかかっている人
14. そんな人を肯定的にとらえられる人
15. このリストが前回とほぼ同じであることに気づいている人

Day-1 13:00~23:00

Day-2 8:00~18:00

これらの中に演習や講義、ディスカッションなどの時間があります。それらを合計すると、だいたい16時間くらいです。実際は、初日の最終セッションが終わるのは24時前後になると思われます（前は25時だった記憶がありますが…）。小休憩も食事の時間もあります。

## 使う教材は、これです。



そう、これは過去問が詰まった問題集です。ETSが作成した公開テストそのもの。モノホンです。2006年にTOEICが新形式になってから、初めて一般発売された過去問。あ、「一般」と言っても、日本では発売されていません。例によって、韓国で発売されたものです。

すでにボク（ヒロ前田）は〇〇冊を輸入しましたので、この合宿に参加する方は、わざわざハングルだらけのサイトで買う必要はありませんし、某書店経由で事前にも必要ありません。また、すでに持っている場合でも、「やりきっていない」ならばラッキーです。合宿では、なるべく後半のコンテンツを扱います。

この本を低く評価している人々も世にいるようですが、本を執筆しているボクたちに言わせれば「完敗」です。ボクたちが完敗。どうがんばっても、本家本元には勝てないのです。もろ、本番に出そうな素材がギッシリ詰まりまくっている本です、これは。

解説がハングルで書かれてあるので、合宿中も合宿後も英語だけ読んで聞いてETSクオリティに浸ることになります。合宿現場で本書を手にするのを想定しますが、すでにお持ちになっている、参加していただくのは問題ありません（その場合は教材費を差し引きます）。

教材費は2,100円に設定してありますが、購入ルートによっては、もっと高く買えます。どうしても「自己手配」したい場合は、それでもOKです。申込時に申告していただきます。

## 韓国語を読めないのはラッキーです。

ボクも読めません。でも、気にする必要はありません。というより、気にしない人に参加していただきたいです。この本の解説と訳は韓国語で書かれていますが、それはラッキーだと思います。日本語が大量に収録されていると、英語ではなく日本語に長時間を費やしてしまうからです。それは、合宿中ではなく、自宅やスタバやジョナサンで、別の本を使ってできることです。好きなだけやってください。合宿中は日本語をほとんど読まずに過ごしていただきます。そういう体験はめったにできないはずですから良いと思いますよ。

## ただし、この特典を約束します。

この本に収録されているアイテム（練習問題）について、どうしても理解できないことがあれば、ボクたちに質問していただければ、必ず回答します。

例えば、「第 X 回模試の 159 番の正解が(C)であるのは分かる。でも、(D)が不正解であることに納得できないので知りたい」といった質問です。

質問には個別にメールで対応します。ボクたちは、通常、このような役務サービスを提供していませんが、解説が韓国語で書かれた本を指定する以上は、質問を受け付けるのは自分たちの責任範囲だと思い、個別対応することにしました。ただ、無期限で受け付けるわけにはいかないので、2014 年 6 月 30 日まで有効とします。(ボクたちは翻訳者ではありませんから、「訳」を提供することはできません)

## 合宿でやること。

この本には、2 時間の「本物」が 6 セット収録されています。2 日間で、だいたい 16 時間の学習時間を用意しますので、16 時間あればいろいろできます。とは言っても、6 セットすべてをこなすのは非現実的ですし、多ければよいというわけでもありません。ボクたちが量と質のバランスを考えて、ベストだと思う量を合宿中に扱います。

静かに解答していただく時間と、解説講義に質疑応答。解答スキルを学んでいただく時間、悩みをシェアする時間と解決策を考える時間。短期的、長期的に力を伸ばすための学習法を伝える時間。今は書けないアクティビティ、合宿後も学習を続けていただくためのワークなど……。かなり楽しく有益であることを約束します。

## キーワードは「リミッターを外す」

これまでずっとお伝えてしてきた通り、「リミッターを外す」ことが、「究極のゼミ合宿」のキーワードです。

合宿では、普段のあなたにとっては無理っぽいことや、多くの人がビビってしまうことに、挑戦していただきます。あなたの可能性を制限しているリミッターを外すことができるのは、あなただけ。そして、リミッターを外す最強の方法は「体験」です。無理っぽいことでも、とにかく体験する。そうすれば「これくらいは当たり前」と思うようになるものです。

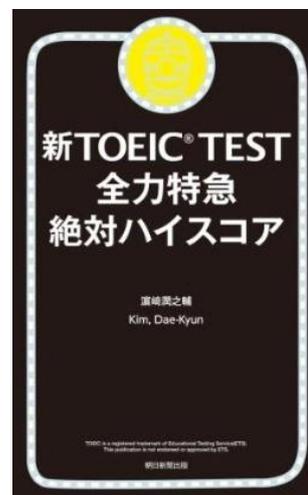
いきなりブッ飛びモードに入る。そうすれば、心が許容する範囲が一気に拡大します。



写真：「究極のゼミ合宿」より

## 教官。

いつも通り、彼と一緒にやります。今から数年前に、あることをきっかけに、学習量を増やしまくり、目指す結果を手にした代表的な人物。『TOEIC テスト完全ガイド』の辛口ランキングで1位となった『新 TOEIC TEST 全力特急 絶対ハイスコア』の著者でありつつ、編集者&大学講師・企業研修講師として活躍しています。



# 濱崎潤之輔

## ～かつて何が何でも 900 点が欲しかった男～

毎月 20～40 冊以上の TOEIC 対策本を使った勉強に明け暮れたものの、挙句の果てにスコアダウン。TOEIC 学習にすべてを捧げていたのに決して報われることの無かった日々を過ごす。その後しばらくは 800 点台前半のカベをブチ壊せずにもがき続けていた……

偶然知り合ったヒロ前田氏からアドバイスを受け、その年の秋に学習スタイルを根本から改革、約半年後、3 月実施の TOEIC 公開テストにおいて 100 点以上のスコアアップ、970 点を取得。

それ以来、革命的な成果を出した「3 回チャレンジ法」の実践を TOEIC の問題集・参考書はもちろんのこと、いかなる英語関連書籍、そして一般書を読む際にも適用し続けている。TOEIC を愛するアツい思いは消えず、その後は 990 点取得だけを目指して受験し続け、現在は 990 点を 20 回以上取得。

かつては単語集の見出し語・10,000 語以上をすべてパソコンに入力する、同じ問題集を 10 回以上も徹底的に復習するなど、従来の TOEIC 学習の常識をぶち壊す行動が、世の学習者のみならず指導者たちを震撼させた。あの神崎正哉氏に「日本で一番 TOEIC の勉強をやっている」と言わしめた男。

「自分以外全てが師」であるという信念から、あらゆるレベルの学習者、そして、TOEIC 講師・英語講師たちとの交流にも積極的で「いかに自分の努力が足りていないのか」を再認識し続けることにより自らを律し鼓舞している。

高嶺の花をつかむことに拘り続け、今もなお孤高の存在を目指す求道者、ここにあり。

ブログ：独学で TOEIC990 点突破を目指す！

好きな言葉：「才能とは自分自身を信じる力だ」

趣味：総合格闘技、TOEIC を愛する人たちとの交流

\*この情報は 2014 年 3 月現在のものです

書いたのは本人です。

「其の六」の詳細です。

# 究極のゼミ合宿 其の六

TOEICテスト究極のゼミ合宿 *New Blood*

日時：2014年3月21日（祝）13時～22日（土）18時 \*初日の集合は12:15  
会場：茨城県つくばみらい市（守谷駅の近く／詳細は申込者にお伝えします）  
定員：16名（2人部屋となる予定です）  
教官：濱崎潤之輔、ヒロ前田  
費用：参加費 39,900円＋教材費 2,100円＝42,000円（税込／1泊3食付き）  
\*教材が「自己手配」の場合は39,900円（税込）です。（ご購入は1人1冊まで）

初日は12:15に守谷駅で集合。13時にセッションを始め、終了は24時の予定。2日目は8時からセッション開始。解散は18時です。

1泊3食です。例外はありません。宿泊が無理なら「合宿」ではなくなるので、参加することはできません。守谷駅は秋葉原駅から「つくばエクスプレス」で30分～40分です。  
\*合宿施設の最寄り駅は新守谷駅ですが、守谷駅に集合し、送迎バスで移動します。



教材は初日に配布しますので、事前購入は不要です。

## ご注意ください。

部屋と食事の確保、キャンセル規定などの都合で、**申込締切日は2014年3月16日（日）の24時**です。その前に空席がなくなれば締め切られますが、空席があれば二次募集を行います。

ご入金の方法などは、メールでお知らせします。ご入金後のキャンセルには取消料が発生しますので、確実に参加できることを確認してからお申し込みください。

## この特典sも継続します。

「究極のゼミ合宿」メンバー専用SNSグループの利用権

facebookに交流スペースがあり、現在60名利用しています。それを利用いただけるようにします。あくまでも「特典」ですから、利用必須ではありません。facebookを利用しないのであれば、無理にアカウントを登録していただく必要はありません。

さらに「濱崎&前田セレクション文法・語彙問題100」もアリ

使用するテキストを利用して、教官がパート5とパート6形式のオリジナル練習問題を100問作ります。当たり前ですが、元ネタのクオリティはETSによって保証されています。そこに我々が独自の視点を加えて、あなたにとって間違いなく有益な練習問題を作って提供します。提供時期を意図的に合宿開催時期からズラシ（4月下旬に送付予定）、継続学習を促します。



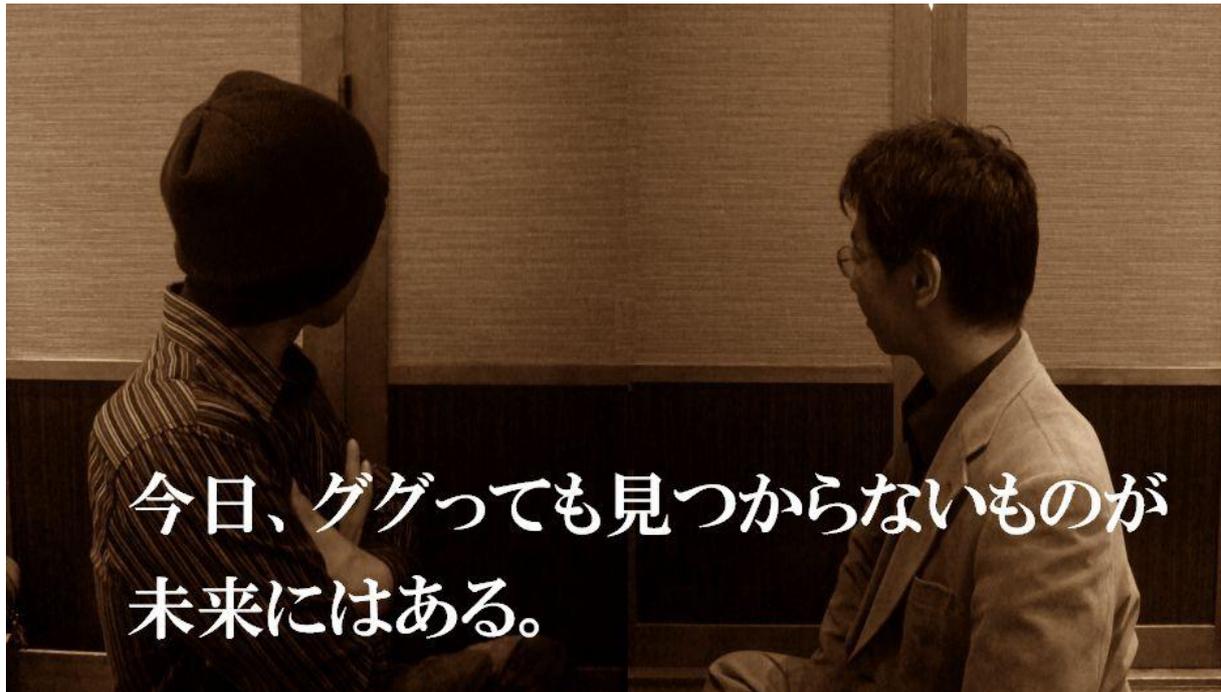
写真：「究極のゼミ合宿」より

## 申込方法

「TOEIC テスト究極のゼミ合宿 其の六」への参加を希望される方は、この[フォーム](#)を使ってください。自動返信でメールが送られ、参加費の入金方法が伝えられます。

リンクが機能しない場合 → <https://ws.formzu.net/dist/S76319852/>

(スマートフォンからも申込可能ですが PC で読めるメールアドレスをご登録ください)



## 追伸

今日、あなたが自分のスコアや喜びの声をインターネットに載せたとします。グーグルは、ほぼ確実に今日中にそれを発見し、検索結果に表示します。

でも、あなたが未来に書く喜びの声を、今日のグーグルは見つけることができません。それは、あなたが自分で創り出す未来だけに存在しますから。

今日とは違う未来を見つめながら、ボクたちと一緒に学んでいきましょう。

2014年3月7日 ヒロ前田